

# レモネードスタンド活動は みんなにできる小児がん支援です

日本で小児がんにかかる人は、年間約2500人。1歳から14歳の子どもの死亡原因の第一位（出典：厚生労働省 平成25年 人口動態統計）にもなっている身近な病気です。小児がんは進行が早く、即入院、そして長期的な治療が必要です。経済的、精神的な負担が長い時間、家族のうえにのしかかります。現在、日本の小児がん治療開発や支援にあてられている予算はアメリカやヨーロッパに比べて少なく、お金のかかる小児がん支援のしくみづくりが日本では遅れています。国や民間から集められたお金ではまだまだ足りないのが現状なのです。レモネードをつくって、売ってみる。レモネードを買ってみる。あなたが関わった1杯のレモネードは小児がん治療の発展を待ち望む「だれか」を救うことにつながります。

## なぜレモネードスタンドが 小児がん支援につながるの？

アメリカでは、子どもたちがお金の使い方を学びながら、おこづかい稼ぎもできる文化として定着している「レモネードスタンド」。

これを利用して、アメリカのある小児がん患者の少女が、小児がん支援のために多額の寄付を集めました。

日本でも、この活動に共感した生徒や学生たちが文化祭やイベントでレモネードスタンドをはじめています。そして、集めたお金を小児がん治療のために寄付するという社会貢献活動として広がっています。

## 集まったお金は、 小児がん支援に寄付します。

小児がん治療の研究を発展させるため、この活動が日本中に広がることを願い、普及協会を設立しました。普及協会では、レモネードスタンド活動に必要なレモン果汁を無償で提供しています。

そして、活動を通じて寄せられたお金は「日本小児がん研究グループ（JCCG）」に寄付し、小児がん治療開発のために使われます。

## 日本では小児がん支援の しくみづくりが遅れています。

実は日本の小児がんの問題については、まだあまり知られていません。小児がんは、大人のがんに比べると患者が少ないことから、治療法や薬の研究開発がとて少ないという現状があります。また、小児がんの種類が多いため、それぞれの専門の医師が少なく、最適な診断ができる医師がとて不足しています。

そこで、2014年に小児がん治療を開発するための全国組織「日本小児がん研究グループ（JCCG）」が発足しました。全国の患者さんのデータを集めて治療開発を進めていくための組織です。この治療開発には多くの資金が必要です。しかし、日本の小児がんのための予算はアメリカやヨーロッパに比べても少なく、まだまだ資金が足りていません。



みなさんも、レモネードスタンド活動をやってみませんか？



レモネードスタンド普及協会  
LEMONADE STAND PROMOTION ASSOCIATION

レモネードスタンド普及協会

検索